

KOREA JAPAN

次代の学校国際交流を
目指して



ソウルツアー
慶熙中の生徒が企画



ホームステイ
大変お世話になりました



慶熙中学見学
本当の日常を体験する

COLLABORATION 25



夏のソウル、慶熙中学との合同授業'17

2017年8月23日、ソウルにある名門の慶熙中学校でもものづくり授業交流をするために同志社中学校から5名の生徒が研修ツアーに参加した。朝、慶熙中学に到着すると校長室にて挨拶があり、VIP待遇をうけ1時間ほどのお話を交わした後、韓国の日常の授業にそのまま参加した。慶熙中のバディ役の生徒が日本の生徒をエスコートして、それぞれの教室に連れて行き、授業がそのまま韓国語でなされるた

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた。

めバディ役の生徒は同時通訳（韓国語⇒英語）で囁く。英語、社会、体育、音楽、数学、理科、技術などの授業に参加することができた。午後は、キムジンヌ先生による日韓合同の授業が行われた。内容は、スパゲティを使ってタワーを作るという問題解決学習の授業で、韓国の生徒たちのそれぞれのチームに入って、英語や韓国語や身振り手振りでコミュニケーションをとりながら、アイデアを共有しつつより高いタワー、ユニークでオリジナリティあふれるタワーを製作した。こういったものづくりの場面では自然に会話がはずみ、手が動く。同じチームの一員であった。先生の指示のもと異国の生徒がいっしょにものづくりを楽しむという素晴らしい時間であった。

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。そんな原体験をこの授業で体験できたら…。これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点。

充実したソウル文化体験

慶熙の中学生が企画してくれたソウルツアーは、韓国の一般交通機関をつかっていろいろなところを案内して下さった。世界遺産の景福宮、仁寺洞、ショッピングのメッカである明洞を体験。実に素晴らし観光コースであった。

3日目は、同志社と関係が深い尹東柱の母校である延世大学を訪問。韓国一美しいとされる慶熙大学と合わせて、広大なキャンパスと長い歴史をもつ延世大学もまたわすれられない訪問となった。

帰国のための飛行に乗ろうとする金浦空港では、なんとホストファミリー（慶熙中学）の生徒がちが見送りに来てくれた。感動、涙のツアーとなった。（沼田）

心のこもった
おもてなし



ともに学習活動・文化・学術研究を交換し、交流しながらお互いの発展に努力して行きたい。



